

## 平成26年度第1回屋久島科学委員会の論議の整理（ヤクシカ対策）

課題		主な意見	今までの対応	今後の対応
ヤクシカ対策	捕獲処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生法の解体施設の基準をクリアした店がオープンした。解体した肉が売れる状況になったことからうまく連携しつつ有効活用を図っていければいい。</li> <li>・捕獲したシカをどう処理するのかという問題は、十分に検討する必要がある。発酵減量法が有効かもしれない。</li> <li>・社会科学の専門の方で獣害問題、野生動物管理問題について造詣の深い方を加え有効な対策を検討しては。また、ガバナンスのあり方を考えられる人を入れた方がいいのでは。</li> <li>・商品化を図ること以上に、自家消費の文化を何とか残していく啓蒙も重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の牧場に埋設処理を設けて試験的に処理することを始めたがあまり利用されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町において減容化する施設の整備について検討。</li> </ul>